

## Clouse (クルース)

Atelier Manager

-Elder Mage-

魔法工房で呪文スクロールの整理中。  
樽が重くなったおかげで、Volvo が手放せない。

錬金術を極めていた頃の侍 Gazel の弟子として降り立った後、今は魔法工房に常駐している。現在の魔法工房が建設される以前から、薬や巻物を作る係として、師匠の冒険のサポートを行っていた。今は堂々とした魔法工房の主であり、師匠・・・だったはずの Gazel も真っ向から戦えば、ただでは済まない筈だ。その姿勢が、魔術師 Gazel 誕生の原動力になったらしい。

緑色のローブと羽根帽子でブリタニアを歩いてきた。革染めが出来るようになって、身に付けていた革鎧も全て緑に染めている。

薬樽が異様に重くなったため、カブトムシ (giant beetle) の Volvo (ヴォルヴォ) に乗ることが多くなった。元々はラマ (ridable llama) の Moco (モコ) に跨ることが多かったが、殆ど乗る機会がなくなったため、Michel のオスタ Silva と交換し、Michel に乗ってもらうことにした。

「魔法」「耐性」Elder、「評価」「解剖学」「瞑想」「書写」「錬金術」GM という絵に描いたようなメイジ。当然ながら、爆弾 (Greater Explosion Potion) の打撃力は半端でない。同じポジションがスタックできるようになったので、爆弾を抱えて砲台になるのも楽になった (UO:KR クライアントでホットバーに登録すれば、ボタン1つで投げられる)。

秘薬低減優先の装備で防御力に難があったため「耐性」Elder は大いに役立っている。Reactive Armor や Magic Reflection による抵抗値の低下も「書写」で軽減できるだけでなく、「耐性」による保証でカバーできるのはありがたい。

そういえば「評価」+「解剖学」での回避が可能なのは、工房の面々の中では彼だけだ。

たいていの場合、魔法工房で物を作っていることが多い。薬樽などは地道な連続作業であるため、そうした最中に客が来ると、実は喜んで出迎える。ただ、沼地では家をパブリックにしている方が少ないためか、間違っって入ってしまった・・・という人も多かったりする。

魔法工房は、元々沼地の大物 (bog thing や plague beast、acid elemental) と安全に戦えるように設計されており、戦士系の腕試しの場所として、工房の面々も頻りに訪れる。魔法を使う acid elemental は・・・Teleport されたら正念場を迎えるが・・・(普通にテレポートしてくるので訪れた方は御注意を)。

TOS の PC~(戦士系 1)	TOS の PC~(戦士系 2)	TOS の PC~(魔術師系)	TOS の PC~(使役系)	TOS の PC~(非戦闘系)	ふるーの PC
<u>Andrew~Velzette</u>	侍 <u>Rosally~Azal</u> <u>Gazel~Kurogane~O</u>	魔術師 <u>Gazel~Clouse</u>	テイマー <u>Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Ri</u>	<u>Mintodt~Mamiën</u>

([工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック](#))

---